

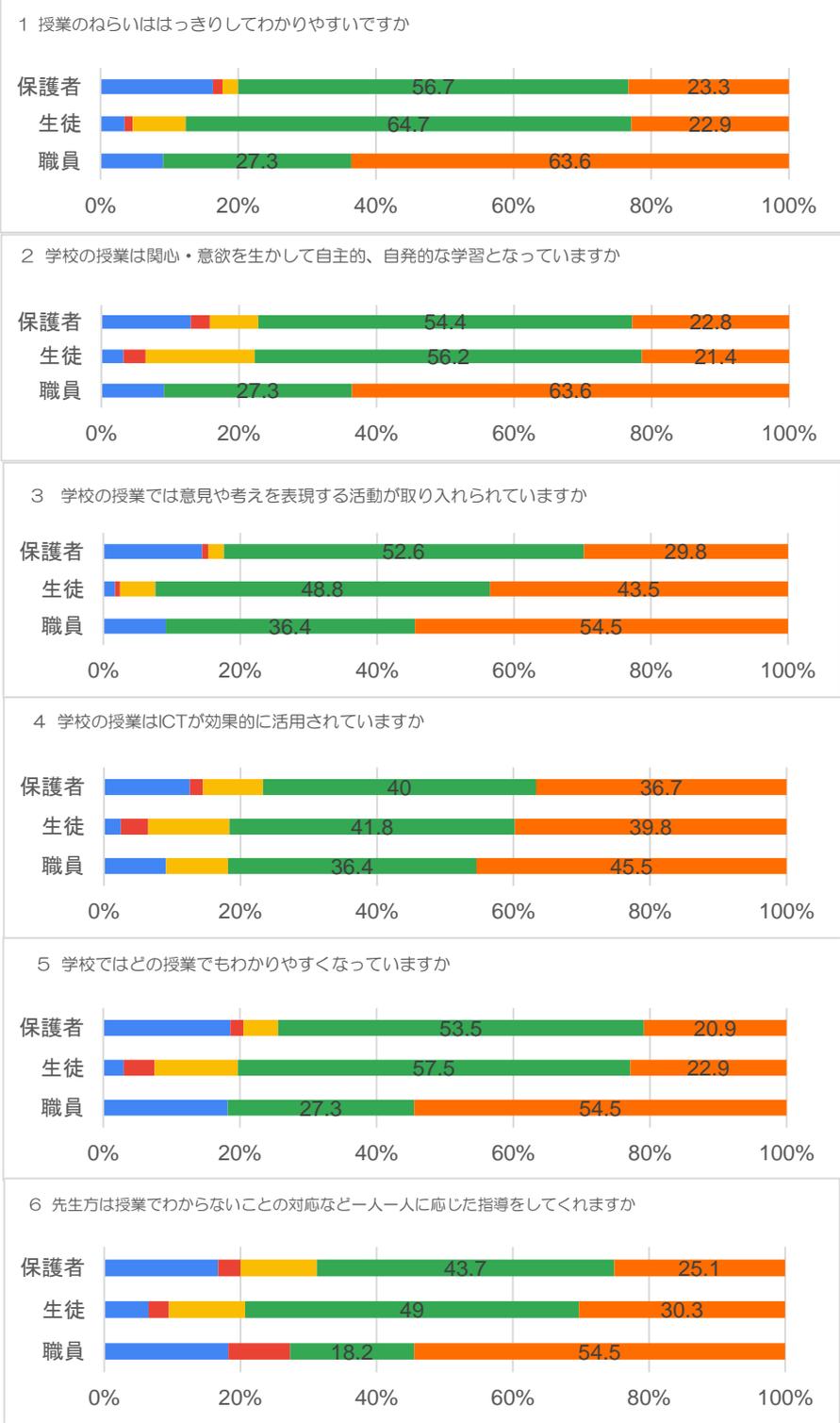
令和7年度 学校評価アンケート 集計結果

凡例



評価の基準

5	生徒 and保護者 評価 80%以上
4	生徒 or 保護者 評価 80%以上
3	生徒 or 保護者 評価 70%以上
2	生徒 and保護者 評価 50%以上
1	生徒 or 保護者 評価 50%未満



1	R6	R7
評価	4	5
生徒	84.5	87.6
保護者	68.5	80

生徒の肯定的回答は今年度も80%を超えてやや上昇傾向といえる。保護者の評価で、肯定的回答が10%以上上がった。

2	R6	R7
評価	3	3
生徒	79.5	77.6
保護者	70.5	77.2

今年は、生徒の肯定的回答はやや下がったが80%近くになった。保護者の肯定的回答は昨年と比べて5%以上上がった。

3	R6	R7
評価	5	5
生徒	92.9	92.3
保護者	76	82.3

生徒の肯定的回答は92.3%と高く昨年度とほぼ同じ評価となっている。保護者でも昨年度よりも5%以上上昇した肯定的回答になっている。

4	R6	R7
評価	4	4
生徒	81.8	81.6
保護者	70.5	76.7

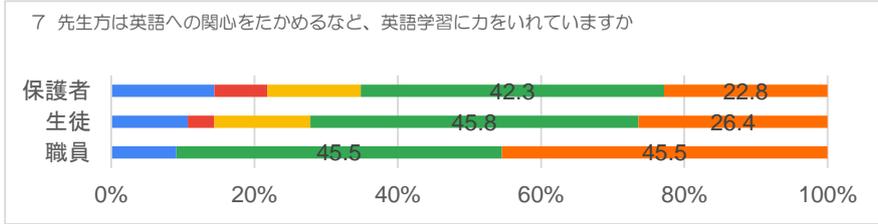
生徒の肯定的回答が80%を超えた。保護者では、肯定的回答が5%以上上昇した。肯定的回答の割合が教師の方がやや高くなっている。

5	R6	R7
評価	3	4
生徒	76.8	80.3
保護者	56.8	74.4

生徒の肯定的回答が80%に回復した。。保護者の方はわからないという比率が5分の1弱を占め、やや高い。肯定的回答は70%台となる。

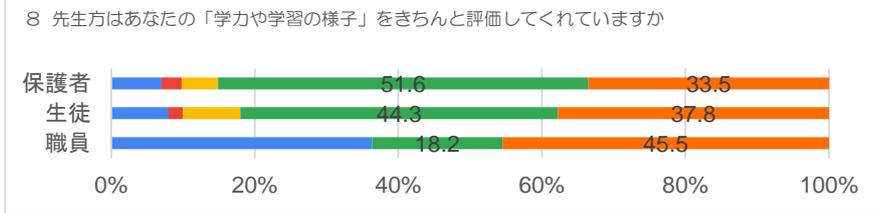
6	R6	R7
評価	3	3
生徒	75.3	79.4
保護者	53.4	68.8

生徒の肯定的回答は75%を超え、昨年とほぼ同じである。保護者評価では肯定的回答が15%近く上がった。



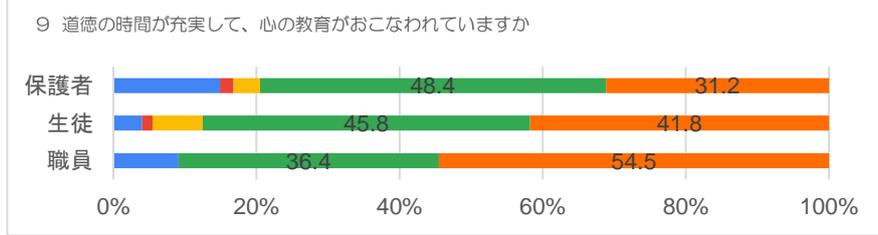
	R6	R7
評価	3	3
生徒	71.7	72.1
保護者	63	65.1

生徒は肯定的回答が1%上昇したが、保護者の肯定的回答が-5%近く低くなる。



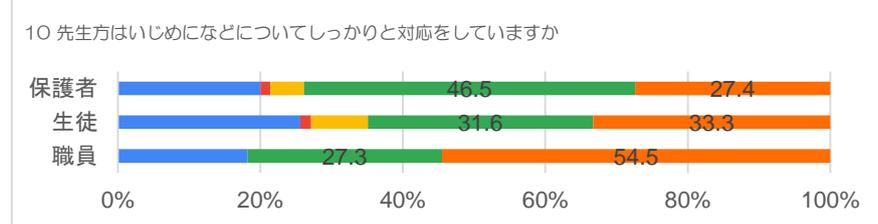
	R6	R7
評価	4	5
生徒	82.7	82.1
保護者	69.2	85.1

生徒と保護者の肯定的回答が80%を超えている。保護者の肯定的回答が昨年と比べて上昇した。



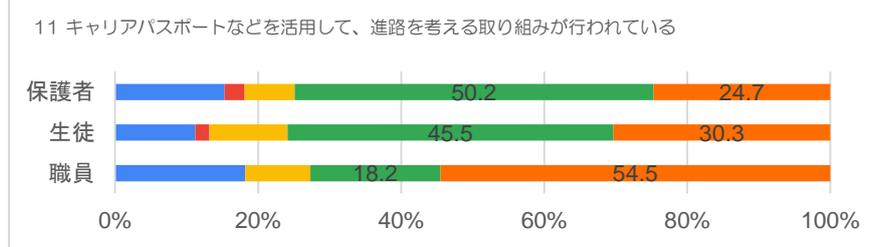
	R6	R7
評価	4	4
生徒	85.4	87.6
保護者	74.7	79.5

生徒の肯定的回答は80%を超える。保護者評価では肯定的な割合が5%近く高くなった。



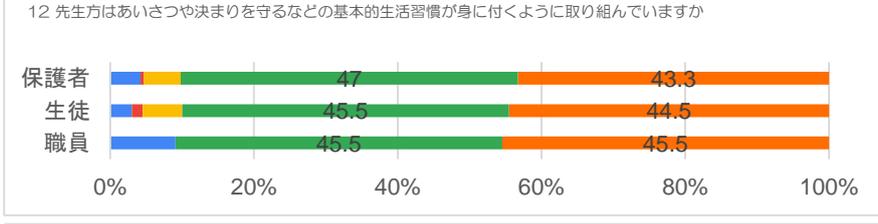
	R6	R7
評価	3	3
生徒	70.5	64.9
保護者	71.9	74

保護者の肯定的回答の割合は変わらないが、生徒の肯定的回答は60%台に下降した。わからないと回答する生徒や保護者の割合も依然として高い。いじめ対応の保護者説明を丁寧にわかりやすく行う。



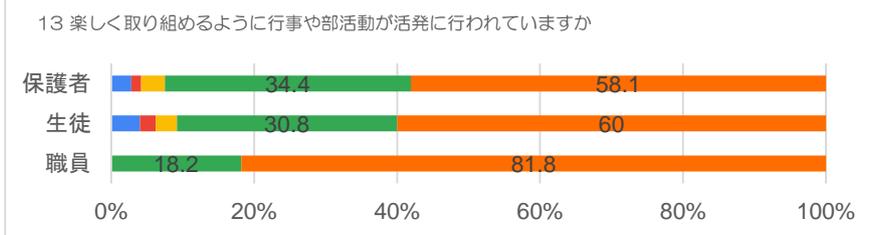
	R6	R7
評価	3	3
生徒	70.2	75.9
保護者	67.1	74.9

生徒の肯定的回答は70%台なかばである。保護者の肯定的回答が懐かしい状態である。



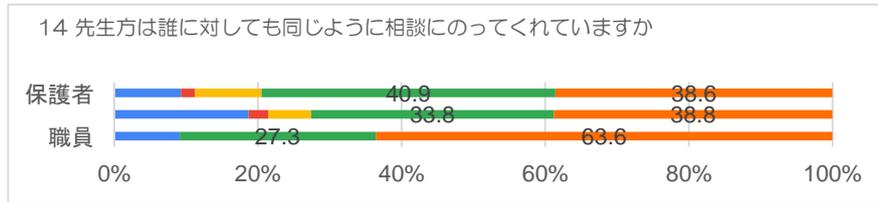
	R6	R7
評価	5	5
生徒	92.3	90
保護者	88.4	90.2

生徒、保護者ともに肯定的回答が90%以上の回答となっている。生徒、保護者ともに高い評価となっている。



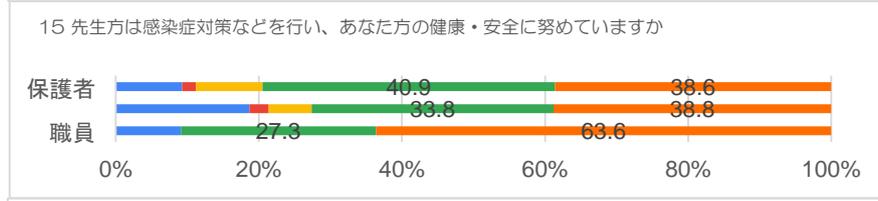
	R6	R7
評価	5	5
生徒	93.5	90.8
保護者	91.8	92.6

保護者生徒ともに肯定的回答が90%を超える。高い評価となっている。本校の特色となっている項目であるので今後も維持していくよう努力が必要である。



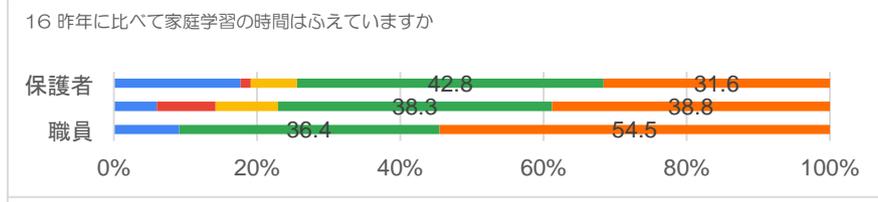
14	R6	R7
評価	3	3
生徒	70.2	72.6
保護者	70.5	79.5

生徒、保護者ともに肯定的回答が70%を超えている。一定の評価は得ていると思われるが、さらに相談しやすい環境を整えていく。



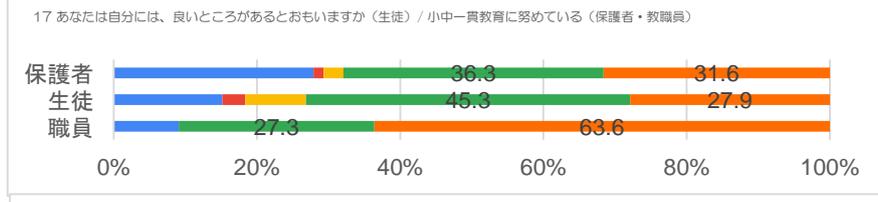
15	R6	R7
評価	5	5
生徒	88.4	85.8
保護者	82.2	87.9

生徒、保護者ともに肯定的回答が80%を超えている。一定の評価は得ていると思われる。引き続き、感染症対策と安全確保に全職員が努めていく。



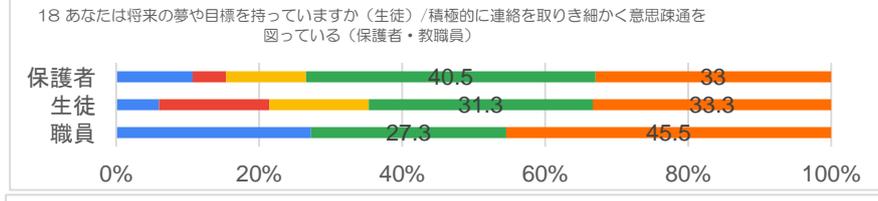
16	R6	R7
評価	3	3
生徒	78.6	77.1
保護者	75.3	74.4

肯定的回答で見れば生徒と保護者は昨年から比べると、やや低下している。タブレットを活用した短時間のドリルを課すなど工夫を凝らし、家庭学習の時間を増やしていく。



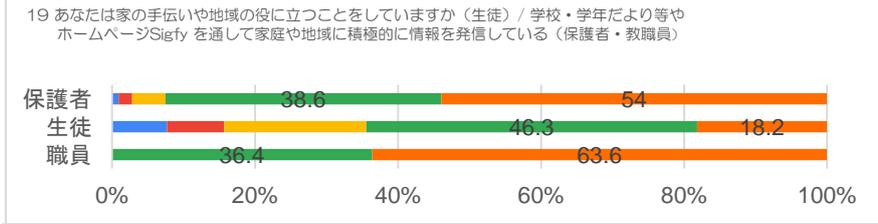
17	R6	R7
評価	2	3
生徒	51.8	73.1
保護者	58.2	67.9

自分に良いところがあるかという質問に対して生徒の肯定的回答は70%台で昨年度より、やや上昇した。今後も一人一人の良さを見取り、認め励ます指導を継続していく。



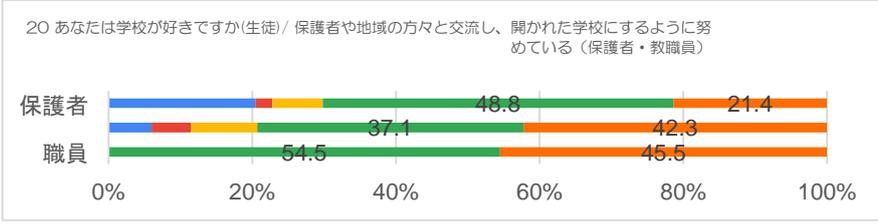
18	R6	R7
評価	4	3
生徒	81.8	64.7
保護者	62.3	73.5

生徒は将来の夢目標について聞いたが肯定的回答が60%台前半とやや下落した。職場体験など体験を通じた学びから夢を育む指導を継続していく。



19	R6	R7
評価	2	4
生徒	66.1	64.4
保護者	58.2	92.6

生徒評価では奉仕活動の取り組みを聞いたが60%台半ばとやや上昇した。今後もボランティア活動の機会を与え続けることで生徒の奉仕の心を育てていく。



20	R6	R7
評価	2	3
生徒	67	79.4
保護者	95.9	70.2

肯定的回答は昨年度よりやや低いと言える。が日々の教育活動を充実させることで満足度がさらに高まると思われる。

【総括】

＜学習面＞

本年度学習面では、①毎時間の授業でねらいを明確にすること ②(校内研修と連携して)授業を公開し合う取組をしたことが奏功して、教師の授業力が上がり、各教科の授業改善につながったと考えられる。

＜生活面＞

いじめ防止については、常にアンテナを高くして早期発見、早期対応を心がけている。具体的な取組としては、生徒がいつでも教職員と話ができて、相談もできる「おしゃべり相談」や「おしゃべりウィーク」を続けている。生徒にも好評で成果も感じられることから、引き続き工夫と改善を加えながら続けていきたい。「いじめは絶対に許さない」という信念を学校全体で共有しながら、今後も生徒が安心して安全に学校生活を過ごせるような学校環境の構築に努める。

＜自己肯定感、将来の目標＞

将来の夢や目標に関しては、6割以上の生徒が未来への展望をもっている。キャリア教育のための教育活動の取組を進めるために、キャリアパスポートの活用を充実させながら、生徒の自己肯定感をさらに高めるとともに、一人一人が具体的に将来の設計や展望がもてるよう、指導や支援に引き続き取り組む。